

日付	2013年3月15日
目的	安全勧告 NO.2013/03/PRO.DEL

ディライトハーネスのレスキューパラシュート引き出しに関して

1) なぜこの勧告が出されたのですか？

このモデルのハーネスによるレスキューパラシュートの引き出しテストに於いて問題が生じることが数回確認された。
いくつかの要素によりレスキューパラシュートの引き出しが難しくなる。

レスキューパラシュートの容量(パッキングサイズ)

背中ポケットにどれだけのものを詰め込んでいるか

我々のテストならびにテストパイロットからのフィードバックによれば、脱着可能なフォーム・パッドをレスキューコンテナー内に挿入することによりこの問題が改善されることが判明した。

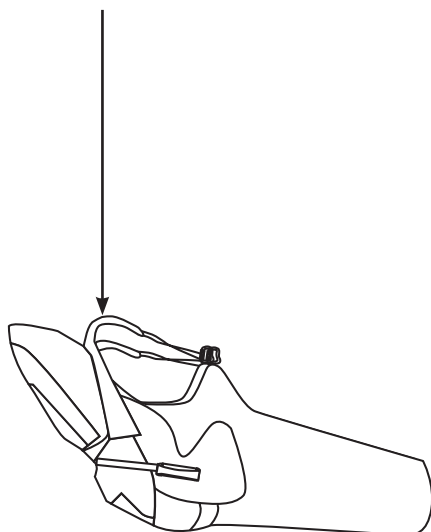
2) どのハーネスが対象ですか？

これまでに製造された全てのディライトハーネス(コード番号A1からD1)

3) コード番号はどこで確認できますか？

右肩のレスキューライザー接続部に縫い込まれているラベルにコード番号が記載されています。

ラベル位置



コード番号記載場所



コード番号は製造年月の
すぐ後に記載されています。
この画像ではC4です。

日付	2013年3月15日
目的	安全勧告 NO.2013/03/PRO.DEL

4) どうすれば良いですか？

次のようにしてレスキューパラシュートの引き出しテストを実施して下さい。

- 背中ポケットにものを目一杯詰め込む
- シミュレーターにつり下がり、レスキューパラシュートを引き出す

もし、レスキューパラシュートが容易に引き出されたら、特に問題は無いので何もなくてOKです。

もし、引き出すのに非常に力を必要とするあるいは引き出せないならば以下に記載された方法により対策用フォームパッドをレスキューコンテナ内部に挿入する必要があります。対策用フォームパッド(無償)をディーラー、輸入代理店あるいは直接フランスのスップエアー(sav@supair.com)に要求して下さい

5) フォームパッドの挿入方法



スップエアーから送られてくる対策用フォームパッドの袋には2つのパッドが入っています。大きい方は< A >パッドでレスキューコンテナの上部に挿入されます。小さい方は< B >パッドでレスキューコンテナの下部に挿入されます。



- 大きいほうのパッド< A >をレスキューコンテナの上部フラップの内側に挿入します。



- 小さいほうのパッド< B >をレスキューコンテナの下部フラップの内側に挿入します。

日付	2013年3月15日
目的	安全勧告 NO.2013/03/PRO.DEL



- c. 両方のパッドが挿入されたら、レスキューパラシュートをコンテナに収納します。
- d. シミュレーターにつり下がり、再度レスキューパラシュートの引き出しテストを実施します。

6) 通告

シミュレーターにつり下がった状態でのレスキューパラシュート引き出しテストでは、スップエアー・エクストラライトではどのハーネスサイズでも引き出しは問題が無かった。しかしながらスップエアー・ライトでは引き出しがほぼ不可能になるところまで妨げられる可能性があることを確認した。このような場合には、対策用のフォームパッドを使用することでレスキューグルの引き出し方向に関わらず容易にレスキューパラシュートを引き出すことが出来、問題が解決される。

注意:今日出回っている全てのレスキューパラシュートでテストすることは不可能です。レスキューパラシュートの引き出しが適切に行えるか、シミュレーターにつり下がり、ご自分のレスキューパラシュート・ハーネスの組み合わせで必ず引き出しテストを実施して下さい。必要ならば、引き出しテストを数回実施して下さい。

SUPAIR-VLD

34 Rue Adrastee

74650 CHAVANOD

FRANCE

TVA:FR71387956790-SIREN:387 956 790

Tel:+33(0)450457529

Fax:+33(0)450527870

Site Web:www.supair.com

email:sav@supair.com